

常任委員会 道内研修視察

7月20日から22日にわたり3常任委員会では、道内の先進地を訪問し、所管事項について研修視察を実施しました。

総務文教常任委員会

7月21日 追分町

視察項目 地域イントラネット
及び電子自治体

追分町では、地域情報化の拠点施設として、「ぬくもりセンター」を町の中心街に建設し、展示・研修・交流施設の機能を設け、中心市街地への人の流れを作り出すとともに、各公共施設と光ファイバー網で接続し、総合行政情報等の受発信を行うことで、住民サービスの向上と中心市街地の活性化を図っていた。



民生常任委員会

7月21日 石狩市

視察項目 子育て支援事業



石狩市では、市内2カ所の子育て支援センターをはじめ、児童館や放課後児童会、子どもの発達に心配や障害のあるお子さんを対象に、子どもの発達に合わせた遊びを提供し、具体的ななかかわり方について指導・援助する、こども発達支援センター、いしかりサポート「こども110番」、不登校児童生徒や保護者を対象に適応指導や相談を行う、ふらっとクラブなどの事業を開設し、また、子育てガイドブックの発行など子育て支援に積極的に取り組んでいた。

産業建設常任委員会

7月21日 酪農学園大学

IT管理インテリジェント牛舎

世界でも酪農学園にしかない、コンピュータ情報システムと管理システムを備えたインテリジェント牛舎を視察。

乳牛の乳量や乳室、健康状態、遺伝情報、繁殖情報、画像情報などを自動的に取り込んで記録し、将来的には学外の関係機関ともネットワークを構成し相互に利用できるような研究していた。

また、糞・尿は資源として、液体有機肥料、バイオガスを精製し、肥料は飼料畑に散布して「循環農法」を実践し、ガスは発電機の燃料として使用し、電気や温水にしていた。

